

表7 採点基準一覧表

No.	項目	要領	No.	項目	要領
1	頭	頭が描いてあれば、どんな形でもよい。頭の輪郭がなければ点にならない。		い	胴の下から出ていること（両脚とも）。
2	眼	一つでも二つでも眼が描いてあればよい。眼らしいものでもよい。	16	指	どんな形でもよい。とにかく指が描いてあればよい（図1-8）。
3	胴	胴があること、どんな形でもよい。横についていてもよい。	17	首の輪郭	首の輪郭がはっきりと描出されていること。No.14の場合は線でもよいが、No.17では輪郭が必要（頭部または胴体のどちらかに線が連続していること。）
4	脚	脚があること。2本あることが必要。2本が密着していることがはっきりしているときは1本でもよい（2本以上4本以下）。	18	脚の割合	脚の長さが胴より長く、胴の長さの2倍以下で、脚の幅が長さより小（長い方の脚で割合は算出される）。
5	口	どんな形でも、また場所はどこでも、口が描いてあること。	19	衣服2以上	衣服を示すものが二つ以上描いてあること。たとえば帽子とベルト、上衣と靴など透明でなく、明確に身体を被うように描いてあること（連続線で身体か衣服か不明のものは一）。
6	腕	腕があること。2本あることが必要、指はなくてもよい。	20	両眼の瞳	瞳があること（両眼あれば両眼とも存すること）。
7	毛髪A	髪の毛がどんな形でもあればよい（1本でもよい）。	21	眼の形	眼の横の長さが、縦の幅より大きいこと（両眼あれば両眼とも）。
8	胴の長さ	胴の長さが幅より大きいこと。両者が同じでは点にならない。また輪郭がなくてはいけない。縦・横の最長部で比較する（図1-1）。	22	耳	とにかく耳があればよい（腕と混同しないことが必要）。
9	鼻	鼻が描いてあること。（鼻孔のみのときも十）。	23	踵	とくに踵が描いてあるもの（靴のヒールが描いてあればよい。前向きの場合、靴が正しく描いてあれば十）（図1-9）。
10	腕と脚のつけ方A	腕と脚のつけ方がほぼ正しいこと。すなわち両脚両腕が胴から出ている（胴からでていればよい）。	24	足の割合	脚と足が輪郭をもって描かれ、足の長さは足のひらから甲までの高さより長いこと。そして足の長さが脚の全長の $\frac{1}{2}$ 以下、 $\frac{1}{10}$ 以上のもの。
11	まゆまたはまつ毛	まゆかまつ毛、またはその両方が描いてあること。	25	頭の輪郭	頭の輪郭が単純な楕円、丸、四角、三角でなく、明確に頭の形に描いてあること。
12	衣服	衣服があること。裸ではないことがわかりさえすれば、釦やポケット・バンドなどが示されるだけでよい。首と分離した胴体だけでは一（図1-2）。腕が袖から出ている場合十（図1-3）。ズボンが判れば十（図1-4）。	26	衣服の全部	衣服がそろって、透明でなく描いてあること。上衣とズボンが必要。No.12およびNo.19が共に十であること。
13	毛髪B	頭の輪郭の上に描いたり、植えたようなものより進んで、頭皮の出していないこと（図1-5）。	27	腕の割合	腕の長さが胴と同じ長さ以上で、膝まで達していないこと（膝は不明の場合、脚の中点とする。腕の
14	首	頭および胴と区別されるべき頸の部分があること（図1-6）。ただし（図1-7）はVネックとみてNo.12は十、No.14は一となる。			
15	腕と脚のつけ方が正し	腕は両方も肩、または肩にあたる場所についていること。脚は			